

新規検査受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望に幅広くお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

謹白

記

新規受託項目

● 肺癌 ALK タンパク(高感度 IHC)D5F3

この度、ロシュ・ダイアグノスティックス社のベンタナ OptiView ALK(D5F3)が保険収載されましたので、受託開始をご案内いたします。

検査要項

項目コード	検査項目名	保険点数	判断料	提出材料	検査方法	所要日数
3847	肺癌 ALK (D5F3)	2,700 点	病理学的 検査判断料 (150 点)	ホルマリン 固定組織 又は 未染標本 スライド4枚	免疫組織化 学染色法	5~10 日

〈未染色標本スライドで提出の場合〉

- 1) 材料は非小細胞肺癌を含む組織のホルマリン固定パラフィンブロックから作製された未染標本スライドとなります。スライドはシラン等のコーティングをしたスライドをご使用ください。
- 2) 組織切片は4μ mの厚さに薄切し、なるべくスライド中央に貼り付け、37℃で24時間乾燥させた後、ご提出ください。
- 3) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。

受託開始日

● 平成29年12月1日(金) 受付分より

※裏面をご覧ください

● 肺癌 ALK タンパク (IHC) D5F3

クリゾチニブまたはセリチニブの非小細胞肺癌患者への適応を判定することを目的とした検査です。

肺癌は世界のがんによる死因者数の第一位を占める疾患です。非小細胞肺癌(NSCLC)の重要なバイオマーカーの一つに未分化リンパ腫キナーゼ(ALK)融合遺伝子があります。ALK融合遺伝子は、EGFR遺伝子とは相互排他的な肺がんのドライバー遺伝子であり、非小細胞肺癌の約3~5%に認められ、若年者、非喫煙者または軽度喫煙者や腺癌に多いという報告がなされています。

本検査は、ALK融合遺伝子が関与するALKタンパクの異常な発現をとらえ、ALK阻害剤であるクリゾチニブまたはセリチニブ適応の非小細胞肺癌患者への適応を判定することを目的としています。

※非小細胞肺癌患者に対して、ALK阻害剤の投与の適合を判断することを目的として、当該薬剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。

● 参考文献

名倉 宏, 他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) :147~150, 2002

Soria JC, et al : Lancet 389(10072) :917~929, 2017.